

## 第631回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. 二級河川巴川（麻機遊水地）総合治水対策特定河川事業〔ICT土工予定〕 …… 静岡市葵区

- ・巴川は静岡・清水平野の市街地を貫流する二級河川で、川の勾配が緩く流下能力が低いため、巴川流域では過去から度重なる浸水被害に見舞われてきた。
- ・昭和49年7月の七夕豪雨による甚大な被害（死者・行方不明者41名、浸水家屋26,156棟）を契機に、巴川は昭和54年に総合治水対策特定河川に指定され、河道整備に流域対策や土地利用規制等を加えた総合治水対策に着手した。
- ・治水計画は、巴川下流部の局部的な改修による流下能力の向上、大谷川放水路の開削による洪水分派、麻機遊水地等の整備による洪水調節の3つを柱としている。
- ・昭和54年度に着手した第1期計画（58mm/hr規模）が完了し、現在は第2期計画（69mm/hr規模）を進めており、将来計画（92mm/hr規模）に向けて段階的な治水安全度の向上を図っている。
- ・麻機遊水地第2工区の建設工事では、マシンコントロールされた油圧ショベルや小型無人機ドローン等を使ったICT（情報通信技術）を活用した土工により、作業の効率化が図られた。（視察キーワード：総合治水対策、遊水地、防災・減災、ICT土工等）



麻機遊水地の空中斜め写真

### 2. 県道静岡焼津線 災害関連事業（トンネル工事）

…………… 焼津市浜当目

- ・大崩海岸と呼ばれる断崖絶壁の海岸沿いにのびる道路
- ・落石・崩落等の恐れがあるため、連続雨量が100mmを超えると通行止め
- ・平成25年10月の台風26号において地すべりが発生し、道路に亀裂や沈下
- ・被災箇所は、海に面し、地すべり背後は急峻な地形
- ・幅60mの規模である地すべりに対して、原形復旧の対策工をするには仮設等の付随する工事が大規模となる
- ・災害申請においては、対策工法選定で、橋梁で地すべりを迂回する案、トンネルで地すべりを迂回する案、地すべり対策工を実施し現道復旧する案を選定し、比較検討を実施
- ・道路災害関連事業により、崩壊のおそれのある周辺の脆弱な斜面を迂回するトンネルを新設する改良復旧として採択され、事業を実施（視察キーワード：災害復旧、防災・減災等）



### 3. 浜松市沿岸域防潮堤整備事業

…………… 浜松市南区

- ・南海トラフ地震に備えた対策として、浜名湖から天竜川河口までの約17.5kmの区間で防潮堤を整備
- ・篤志家、地元企業、及び市民の寄付金により、レベル1津波を上回る高さの防潮堤整備が実現
- ・ダム建設で培われたCSG工法を採用し、建設地となる海岸防災林の再生を可能にするとともに粘り強い構造を実現
- ・CSG工法の特徴でもある材料の合理化（基本的に分級不要）、設計の合理化、施工の合理化（汎用機械で施工可能、マシンガイダンス等）に加え、現場条件を踏まえた数々のコスト削減策を実施
- ・地盤支持力の適切な評価、及び着手・進捗の迅速化を可能とした情報化施工を採用（視察キーワード：東南海トラフ地震、防災・減災、官民連携（民間企業の寄付）等）

